

有馬小 杉本小 あそびっ子クラブ開設

年2校ずつ 増設の予定



あそびっ子クラブをご存知ですか。これは、自主的・自由に遊びながら、さまざまなことを体験していく中で、子どもたちが仲間との交流・助け合いの大切さや協調など、社会のルールを自然に身につけることを目的に始まったもので、地域の方によって運営されています。対象は小学生で、活動は放課後、小学校の校庭や体育館を利用して、ボール遊びやゲームなど、思い思いの遊びを楽しめる仕組みです。

この事業は昨年度から始まり、杉本小と今泉小に、また今年度は有馬小と杉本小に開設しました。今後は年2校ずつ程度増設していく予定です。

開設4校目となる杉本小では初の10月30日、120人の児童が参加した。上はあそびっ子クラブの様子、下は開校式の様子。



気持ちを伝える “ことば”

思いつくくまよまに

「声に出して読みたい日本語」という本が大ヒット。多くの人に読まれたというところで、その後、日本語に関する本が、次から次へと出版されて、これまた大変売れて、読まれているそうです。

確かに、ある本屋さんでは「ホンモノの日本語を話していますか?」「その日本語、通じますか?」「日本人なら知っておきたい日本語」等が店頭に並んでおりました。日本語の乱れの表れなのだろうか。日本語

の乱れというところは、かなり前から話題になっており、元国語教師としても、それなりに憂えていた1人でした。
本来、言葉というものは、その場に合った正しい使い方ができればいいはずですが、また、「書きことば」より「話しことば」に乱れという問題があるように思います。
我が家でも、時々「ことばの戦争」が起きています。「もうできた」と私は家内に促しますが、誰か「誰に聞かしているの?」「何ができたかわからないじゃない」と言います。我が家は92歳の母親と3人暮らしですから、少なくとも「誰に」は、家内を指しているのは明白だと思います。しかし、考えてみれば、5W1Hが欠如していることに気づきました。
思うに、ことばの乱れは、主語・述語・目的語の簡略化が原因ではないかと私なりに結論づけました。美しい日本語を心がけたいものです。

海老名市長 亀井 英一

設していく予定です。
● 青少年会館(☎231・9787)。

● 親子いきいきセミナー

▽日程 ①「思春期の子どもの心のとらえ方」見守ること・働きかけること」▽日時 12月13日(金)午後1時30分～3時30分 ▽講師 臨床心理士・ヴィヒャルト千佳氏 ②「叱つてばかりの私にならないために」子育てを通して自分を見つめ直そう」▽親子で遊ぼう」▽日時 12月18日(水)午後1時30分～3時30分 ▽講師 川村和子氏、柳田紀子氏、子育て支援センター保育士 ※親子で参加ください ③「ストレスが及ぼすからだの病氣」▽日時 12月26日(木)午後2時～4時 ▽講師 東海大学精神科医師・保坂隆氏 ▽会場 いずれも保健相談センター ▽対象 市内在住・在勤の方 ▽託児 ①③は託児あり。詳しくはお問い合わせください。

● 厚木保健福祉事務所(☎224・1111)、保健相談センター(☎235・7880)。

交通安全・防犯の功労者などを表彰

交通安全・防犯に功労のあった方の表彰が、第21回海老名市交通安全・防犯市民のつどいの中で行われました。
受賞者の氏名(名称)は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

交通安全…多年にわたる交通安全活動に貢献した功績 ▽個人 今川一之(大谷、神森義一)、青柳義治(国分寺台)、平場智寿子(同)、諸井敏雄(中新田、今福信(同)、加藤和雄(河原口)、松石徳司(同)、木

● ポスター・標語入賞者も

交通安全…多年にわたる交通安全活動に貢献した功績 ▽個人 今川一之(大谷、神森義一)、青柳義治(国分寺台)、平場智寿子(同)、諸井敏雄(中新田、今福信(同)、加藤和雄(河原口)、松石徳司(同)、木

環境まめ知識 ③

今年も残すところわずかとなりました。西の山並みには富士山が見え、すがすがしい気持ちにさせてくれます。
冬の空気は冷たく、澄んでいるように思えますが、1年のうち12月は大気汚染が一番ひどくなる月です。
主な理由は、大気汚染物質の代表格、窒素酸化物(NOX)の濃度が特に高くなる時期だからです。窒素酸化物は、車の排気ガスや会社・家庭の暖房など、ものが燃えるときに空気中の窒素が酸素と結びついてできる物質です。酸性雨や光化学スモッグの原因となったり、二酸化窒素(NO2)は人間の呼吸に悪影響を与え、とわわわとわわわと響かせるといわれています。

大気汚染「最悪」の月

響かせるといわれています。年末は車の交通量が増加し、暖房もフル回転するので窒素酸化物がどんどん排出されます。さらに、冬は冷たい空気が地表付近の空気の上に重くのしかかる「逆転層」という現象が起こり、地表付近の空気が上空に拡散されないため、大気汚染がひどくなります。
このため、市をはじめ各自治体では12月を「大気汚染防止推進月間」として、汚染防止を呼びかけています。
大気は地球上でつながっています。一人ひとりの環境への思いやりと行動で、きれいな空気を守りましょう。

● 汚染を抑えるために…

- ①アイドリングストップを心がけましょう(エンジンをかけたまにしない)
 - ②マイカーに乗らない日をつくりましょう(水曜日のノーカーデーにご協力)
 - ③外出は、できるだけ徒歩か公共交通機関を利用しましょう
 - ④車の空ふかしや急発進・急加速はやめましょう
 - ⑤車は低公害車を選び、きちんと整備・点検を
 - ⑥暖房の温度設定は控えめに
- ◆ 次回は「地球温暖化防止」について。

● 環境保全課(内532)。

防犯金賞受賞ポスター



「上から」熊野万里子(低)、秋永美沙子(中)、鈴木奈緒(高)のみなさんの作品

交通安全金賞受賞ポスター



「上から」下川床知仁(低)、茂木直大(中)、工藤さゆり(高)のみなさんの作品

● 男たちのたのしいクッキング第2弾を募集

選) ▽食材費 1,000円
▽持ち物 エフロン、三角巾または手ぬぐい ▽講師 食生活改善推進団体会びな会。
● 12月8日(日)までに電話またはEメールで生涯学習課(☎323・3231、Eメール shogaku@city.ebina.kanagawa.jp)へ火曜休館)へ。